

5章 外部委託契約

1. 概況

『地方自治法 第6節 契約(契約の締結)第 234 条』において売買、貸借、請負その他の契約は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約又はせり売りの方法により締結するものとする。2 前項の指名競争入札、随意契約又はせり売りは、政令で定める場合に該当するときに限り、これによることができる。」旨規定されている。また、長野県の『財務規則第5章 契約 第1節 契約の締結の方法(随意契約によることができる額)第 136 条』において政令第 167 条の2第1項第1号に規定する規則で定める額は、次の各号に掲げる区分に従い、当該各号に定める額とする。

- (1) 工事又は製造の請負 250 万円
- (2) 財産の買入れ 160 万円
- (3) 物件の借入れ 80 万円
- (4) 財産の売払い 50 万円
- (5) 物件の貸付け 30 万円
- (6) 前各号に掲げるもの以外のも 100 万円」と規定されている。

長野県立病院の委託契約は原則として一般競争入札により行われている。

2. 監査手続

委託業務の契約書、積算書類及びマニフェストを閲覧し内容を検討した。同時に必要な書類を入手し担当者に質問をした。

3. 意見

(1) 医療廃棄物の処理業者の監視

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』第 12 条の2第5項に事業者は、前二項の規定によりその特別管理産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合には、当該特別管理産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の行程における処理が適正に行われるために必要な措置を講ずるように努めなければならない。」旨規定されている。医療関係機関等は、委託基準やマニフェストについて法令上の義務を遵守することに加えて、感染性廃棄物が最終処分に至るまでの一連の行程における処理が不適正に行われることがないように、必要な措置を講ずるように努めなければならない。

マニフェスト制度とは、排出事業者が産業廃棄物の処理を委託するときに、マニフェストに産業廃棄物の種類、数量、運搬業者名、処分業者名などを記入し、業者から業者へ、産業廃棄物とともにマニフェストを渡しながら、処理の流れを確認するしくみである。それぞれの処理後に、排出事業者が各業者から処理終了を記載したマニフェストを受取ることで、委託内容どおりに廃棄物が処理されたことを確認することができる。これによって、不適正な処理による環境汚染や社会問題となっている不法投棄を未然に防ぐことができる。

医療廃棄物処理に関しては長野県内に当該業務を遂行できる業者が限られており、須坂病院、こども病院とも医療廃棄物の搬出から最終処分まで同一の業者が処理を実施している。全ての業務を同一の業者が行うことは監視機能が働かなくなる危険性がある。病院の担当者が抜き打ち検査を行う等の牽制が必要であると考えらる。

(2) 予定価格の決定

医療廃棄物及び一般廃棄物処理業務委託に係わる予定価格は原則として前年度の実績見込数量を基に算定されているとのことである。平成15年度から平成17年度の廃棄物排出量は以下の通りであり、予定量と実績量とにかなりの差が生じている。次年度予算を策定する際には次年度の予定量は当年度の実績量が確定する前に算定する必要があるため当年度の実績量には見積もりが含まれる。参考までに前年度の実績を予定量とした場合の差額及び当年度実績の前年度実績に対する割合を示した。下表から予定量と実績量にはかなりの差異が生じていることがわかる。また、前年度の実績量と当年度の実績量にも無視できない差異が生じている。予定量の算定方法についてさらに検討すべきである。

① 須坂病院産業廃棄物

感染性廃棄物

(単位:Kg)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	計
予定量	5,760	5,760	28,320	39,840
実績量	17,000	44,195	47,832	109,027
差額	11,240	38,435	19,512	69,187
実績/予定(%)	295%	767%	169%	274%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成16年度	平成17年度
前年度実績	17,000	44,195
当年度実績	44,195	47,832
差額	27,195	3,637
当年度実績/前年度実績(%)	260%	108%

廃プラスチック・ガラス類

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	18,600	18,600	1,625	38,825
実績量	84,510	702	3,013	88,225
差額	65,910	△ 17,898	1,388	49,400
実績／予定(%)	454%	4%	185%	227%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	84,510	702
当年度実績	702	3,013
差額	△ 83,808	2,311
当年度実績／前年度実績 (%)	0.8%	429%

レントゲン廃液類

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	6,000	6,000	6,000	18,000
実績量	27,450	1,800	1,540	30,790
差額	21,450	△ 4,200	△ 4,460	12,790
実績／予定(%)	458%	30%	26%	171%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	27,450	1,800
当年度実績	1,800	1,540
差額	△ 25,650	△ 260
当年度実績／前年度実績 (%)	7%	86%

②須坂病院一般廃棄物

可燃ごみ

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	158,000	158,000	161,500	477,500
実績量	158,000	160,000	144,300	462,300
差額	0	2,000	△ 17,200	△ 15,200
実績／予定(%)	100%	101%	89%	97%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	158,000	160,000
当年度実績	160,000	144,300
差額	2,000	△ 15,700
当年度実績／前年度実績 (%)	101%	90%

ビン・缶

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	10,000	10,000	10,000	30,000
実績量	10,000	10,000	4,380	24,380
差額	0	0	△ 5,620	△ 5,620
実績／予定(%)	100%	100%	44%	81%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	10,000	10,000
当年度実績	10,000	4,380
差額	0	△ 5,620
当年度実績／前年度実績 (%)	100%	44%

ペットボトル

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	500	500	1,900	2,900
実績量	1,200	1,900	1,525	4,625
差額	700	1,400	△ 375	1,725
実績/予定(%)	240%	380%	80%	159%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	1,200	1,900
当年度実績	1,900	1,525
差額	700	△ 375
当年度実績/前年度実績 (%)	158%	80%

本・雑誌・新聞

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	5,000	5,000	9,000	19,000
実績量	15,000	9,400	350	24,750
差額	10,000	4,400	△ 8,650	5,750
実績/予定(%)	300%	188%	4%	130%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	15,000	9,400
当年度実績	9,400	350
差額	△5,600	△ 9,050
当年度実績/前年度実績 (%)	63%	4%

ダンボール

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	10,000	10,000	33,600	53,600
実績量	30,000	33,600	17,260	80,860
差額	20,000	23,600	△ 16,340	27,260
実績/予定(%)	300%	336%	51%	151%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	30,000	33,600
当年度実績	33,600	17,260
差額	3,600	△16,340
当年度実績/前年度実績 (%)	112%	51%

不燃ごみ

(単位:Kg)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	計
予定量	1,500	1,500	2,000	5,000
実績量	1,500	2,000	0	3,500
差額	0	500	△ 2,000	△ 1,500
実績/予定(%)	100%	133%	0%	70%

前年度実績との比較

(単位:Kg)

	平成 16 年度	平成 17 年度
前年度実績	1,500	2,000
当年度実績	2,000	0
差額	500	△2,000
当年度実績/前年度実績 (%)	133%	—

上記のように実績量と予定量に乖離が生じている。支払金額は実際排出量と予定排出量とに大幅な差が生じても当初の契約金額で支払われる。排出量を正確に予想することは困難であるが、契約金額を上限金額として実際の排出量に応じて委託料を計算するなどの方法に変更することを検討すべきである。

参考までに平成16年度及び17年度の感染性廃棄物、一般廃棄物の予定価格を下表に示した。

平成16年度

	予定量	単価(円)	金額(千円)
感染性廃棄物(リットル)	72,000	50	3,600
廃プラスチック・ガラス類(m ³)	310	10,000	3,100
レントゲン廃液(リットル)	6,000	60	360
小計			7,060
消費税			353
合計			7,413
予定価格			5,565

平成17年度

	予定量	単価(円)	金額(千円)
感染性廃棄物			
プラスチック(リットル)	69,000	27	1,863
ダンボール(リットル)	285,000	14	3,990
廃プラスチック・ガラス類(Kg)	1,625	40	65
レントゲン廃液(リットル)	6,000	60	360
小計			6,278
消費税			313
合計			6,591
予定価格			6,920

平成 16年度

	予定量 (Kg)	単価 (円/Kg)	金額 (千円)
一般廃棄物処理手数料			
可燃ごみ	158,000	8	1,264
ビン・缶	10,000	8	80
ペットボトル	500	79	39
本・雑誌	5,000	8	40
ダンボール	10,000	8	80
不燃ごみ	1,500	8	12
収集運搬費	(回)		
可燃ごみ	240	3,800	912
その他	52	3,800	197
小計			2,625
消費税			131
合計			2,756
予定価格			2,756

平成 17年度

	予定量 (Kg)	単価 (円/Kg)	金額 (千円)
一般廃棄物処理手数料			
可燃ごみ	161,500	8	1,292
ビン・缶	10,000	8	80
ペットボトル	1,900	79	150
本・雑誌	9,000	8	72
ダンボール	33,600	8	268
不燃ごみ	2,500	8	20
収集運搬費	(回)		
可燃ごみ	240	4,000	960
その他	52	4,000	208
小計			3,050
消費税			152
合計			3,203
予定価格			3,199

6章 企業債

1. 概況

昭和 54 年度から平成2年度に借入した財政融資資金の利率が6%を超えており、病院経営を圧迫している。民間資金により借換債を発行し繰上償還をすることができれば支払利息が減少し財政状況を改善させることができる。借換により節約可能な支払利息の金額を計算した。

利率6%超の財政融資資金の明細

	発行 年月日	発行総額 (千円)	未償還 残高 (千円)	利率 (%)	期間 (年)	償還 終期	支払利息 (千円)
1	昭和 55 年 3 月 25 日	30,000	8,883	7.15%	30	平成 22 年 3 月 25 日	635
2	昭和 56 年 3 月 25 日	569,000	214,833	8.00%	30	平成 23 年 3 月 25 日	17,187
3	昭和 57 年 3 月 25 日	1,006,000	421,998	7.30%	30	平成 24 年 3 月 25 日	30,806
4	昭和 58 年 3 月 25 日	369,000	174,711	7.30%	30	平成 25 年 3 月 25 日	12,754
5	昭和 59 年 3 月 26 日	27,000	13,994	7.10%	30	平成 26 年 3 月 25 日	994
6	昭和 59 年 8 月 21 日	499,000	258,645	7.10%	30	平成 26 年 3 月 25 日	18,364
7	昭和 59 年 11 月 26 日	17,000	9,215	7.10%	30	平成 26 年 9 月 25 日	654
8	昭和 61 年 3 月 25 日	165,000	96,794	6.30%	30	平成 28 年 3 月 25 日	6,098
9	昭和 63 年 9 月 26 日	826,773	478,710	6.80%	27	平成 27 年 9 月 25 日	32,552
10	平成 3 年 3 月 25 日	601,000	465,994	6.60%	30	平成 33 年 3 月 25 日	30,756
11	平成 3 年 3 月 25 日	1,378,000	1,068,453	6.60%	30	平成 33 年 3 月 25 日	70,518